

大岡川源流域を訪ねて

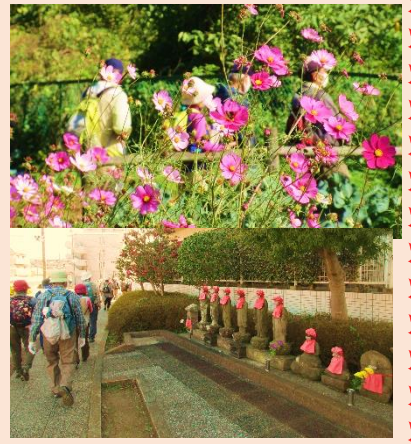
円海山周辺の市民の森からののはな館へ。

【集合】午前9時 東急ストア横広場 9キロ

(JR根岸線、洋光台駅4分)

【コース】峰の灸～いっしんどう広場～大岡川源流域～
ののはな館～金沢文庫駅

【解散】午後0時30分頃 金沢文庫駅(京浜急行)



毎年11月になると「大岡川源流域を訪ねて」がある。横歩連の例会ではこのコースは円海山に向かって馬の背で、いっしんどう広場からは足場の悪い下りになりややハードである。朝方、風がやや寒かったが歩き始めると暑い。野毛周辺の桜並木が有名な大岡川、みなとみらいに注ぐ川の源流がここにある。氷取沢市民の森の小川アメニティーの最上流でもある。奥深い森の中でホトトギスの様々な鳥のさえずりを聞き、清々しい空気に浸れる。

円海山護念寺は浄土宗のお寺で、古典落語「強情灸」の舞台となった「峰の灸」で知られている。(あれは熱いのなんの、腕がちぎれるかと思ったぞ。両腕に36ヶ所、山のようにもぐさを据え一気に火を付けるんだから。あれはそうそう耐えられないじゃない)後のストーリーはご想像下さい。今回は名木「モチノキ」を狭い山道を登り観賞する。

おおよと広場で一休みしてコスモス街道を通り、シダの群生道を抜けののはな館に向かう。眼下に街並みを見て、後は下り一辺倒で釜利谷公園で解散式を行い、金沢文庫駅まで20,000歩近くのウォーキングでした。参加者は天気の良いせいか100名+8名。結構、高齢の方もいたが、皆がんばってケガ人もなく終了。

横歩連 春

